



伊場遺跡出土の木甲

本年九月、伊場遺跡群から出土した弥生時代後期の遺物のうち、六〇五点が正式に重要文化財に指定されました。六〇五点の内訳は土器が多いのですが、石器や木製品、青銅器なども含まれています。今回はその中でも鮮やかな色彩と精緻な彫刻による文様で注目されている木甲（木製のよろい）について、近年の新たな知見を踏まえて紹介したいと思います。

木甲は、伊場遺跡の集落の周りをめぐる三重の環濠内から、前胴の右胸部分と後胴

の左背部分の破片が別々に出土しています。いずれもヤナギ材を使用しており、表面全体に赤色塗彩を施し、外周や一部の文様に黒色塗彩を行うことで、デザイン性を高めています。

右前胴の破片には、同心円文や三角形を四方向に配した三角繫文などが彫刻されています。右端には、左前胴と連結するための綴じ紐孔が二箇所に開けられています。

後胴の破片には、翼状の突起が付き、蕨手文や四角形を重ねた重四角文など多様



伊場遺跡出土木甲（奥は全体形を復元した複製品）

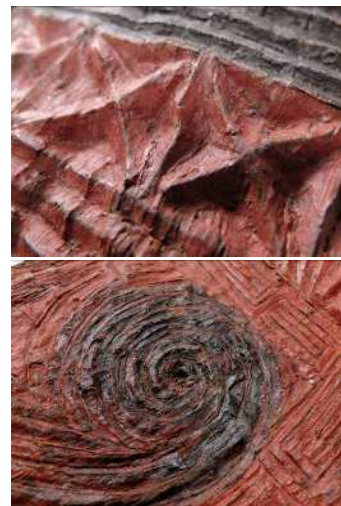
左手前が後胴、右手前が右前胴の破片。環濠内の別々の場所から発見されたが、材質が同じであること、文様や彩色等が同様であることから同一個体と考えられ、奥にあるような形状になると推定される。

な文様が刻まれています。

後胴の翼状の突起は、鳥の羽を表現したものともみられます。精緻な彫刻や鮮やかな色彩と併せて考えると、実戦用ではなく、儀礼に用いられたと推定されます。

近年の新たな知見として、木甲の赤色顔料の同定と、類似した形態の木甲の出土例の二点が挙げられます。

一点目の赤色顔料の同定は蛍光X線分析によって行いました。その結果、ベンガラと朱の二種類の顔料が併用されていることがわかりました。ベンガラは鉄分を多く含む赤土などからも得られますが、朱は水銀を主成分とするもので、原料となる辰砂は日本列島内で産出地が限られ、中国産が用いられるなど貴重品として扱われていました。伊場遺跡の木甲に塗られていた朱の原産地は現時点で不明ですが、貴重な朱が用いられた木甲は、当時の伊場の集落でも特別な存在であったと考えられます。



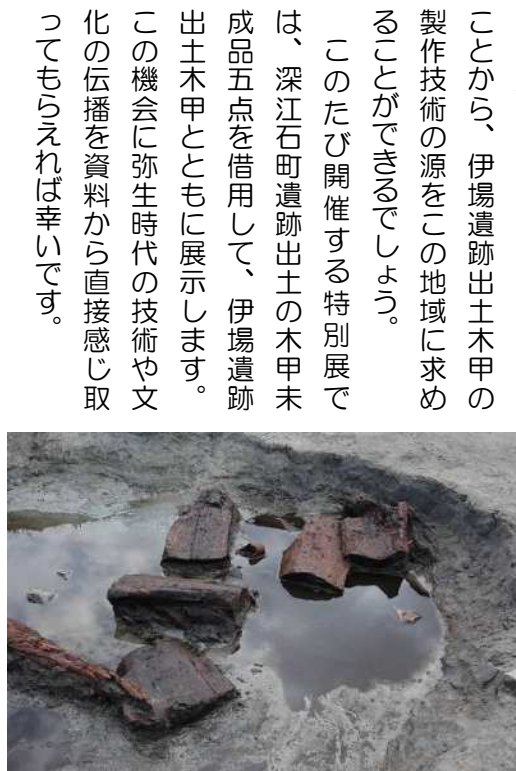
文様部分の拡大（上：三角繫文、下：蕨手文と重四角文）



深江石町遺跡出土木甲
(後胴) 未成品
伊都国歴史博物館蔵



深江石町遺跡出土木甲復元
イラスト 伊都国歴史博物館提供 稲富聡作画



木甲未成品の出土状況 土坑から5点がまとまって出土。深江石町遺跡は糸島半島の付け根付近に立地する。
伊都国歴史博物館提供

二点目の類似例についてですが、福岡県糸島市深江石町遺跡で伊場遺跡と同時期の弥生時代後期前半の木甲が出土しています。出土した木甲の内訳は後胴一点、前胴二点(左・右)、半裁材二点の計五点ですが、いずれも製作途中の未成品です。全ての部材が同一の木材(カキノキ)とみられ、木甲の製作工程をうかがうことのできる重要な資料です。

注目されるのは、完成に最も近い後胴が、伊場遺跡出土木甲とよく似た翼状突起を一对有している点です。本例は未成品のため彫刻や彩色はありませんが、福岡市から糸島市にかけては、彫刻や彩色の施された木製品や、朱の原料となる辰砂や加工に用いる石杵、彫刻に用いる鉄製工具も出土することから、伊場遺跡出土木甲の製作技術の源をこの地域に求めることができるでしょう。

このたび開催する特別展では、深江石町遺跡出土の木甲未成品五点を借用して、伊場遺跡出土木甲とともに展示します。この機会に弥生時代の技術や文化の伝播を資料から直接感じ取ってもらえれば幸いです。

催し物のご案内

★特別展「伊場遺跡群と弥生時代後期の文化」 11月22日(土)～2026年1月18日(日)

☆ギャラリートーク

11月22日(土)・12月27日(土)/28日(日)・

1月18日(日) いずれも 10:30～11:00

☆シンポジウム

「伊場遺跡群と弥生時代後期の文化

ー2世紀の社会変革を考えるー」

11月29日(土) 10:30～16:00

会場：可美公園ホール

☆座談会「伊場遺跡とは何か」×伊場遺跡見学会

1月12日(月・祝) 9:30～14:30

会場：浜松市立西図書館及び伊場遺跡公園

☆講座×ギャラリートーク

①「伊場遺跡の赤いよろいを語る」

12月13日(土) 10:00～14:00

②「伊場遺跡を語る」

1月10日(土) 10:00～14:00

会場：浜松市立城北図書館及び浜松市博物館

※関連事業の申込方法等の詳細はHPをご覧ください。

★社会科自由研究優秀作品展

10月11日(土)～26日(日)

★小展示「相曽形染の型紙とその関係資料」

10月28日(火)～11月16日(日)

★小展示「道具たちの100年」

11月22日(土)～2026年2月23日(月・祝)

★文化の日イベント

11月3日(月・祝) 観覧料無料

蜷塚遺跡ガイドツアー

10:30～11:30(申込不要)

★かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし

11月8日(土)、12月13日(土)

14:00～14:30(申込不要)

会場 旧高山家住宅(蜷塚公園内)

※各事業の詳細は、HPやSNSでご確認ください。

※イベントは、変更、中止になる場合があります。

左から
ホームページ
X(旧ツイッター)
Instagram



浜松市博物館

〒432-8018 浜松市中央区蜷塚四丁目22番1号

Eメール：hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：月曜日(休日の場合翌日)、年末年始(12/29～31)

臨時休館 10/22(水)、11/18(火)～21(金)